



第70号

木曽川町連区

HP



地域づくり協議会だより

【発行日】令和7年6月1日 【発行者】木曽川町連区地域づくり協議会
 ☎493-0006 木曽川町内割田一の通り27(木曽川庁舎内)
 【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp ☎84-0005
 【ホームページ】https://138kisogawa.org

総数	男	女	世帯数
33,714	16,487	17,227	14,484

木曽川町連区の人口(2025.4.1現在)

会長あいさつ

地域づくり協議会 会長 宮口 勉



4年目になりますが、本年度も会長職を務めさせていただきます。本年度は昭和100年の節目の年です。地域づくり協議会は発足後12年目になります。

私の体格は、身長5尺6寸1分、体重24貫で、なかなかBMIが下がりません。

「温故知新」という故事成語がありますが、今となっては古き昭和の時代にも、良き風習がありました。

私の子どもの頃は、村をあげてのお祭りやラジオ体操、そして餅つきの行事などがあり、また花嫁さんを迎えるときは、屋根からお菓子がまかれ夢中になって取り合っていました。近所の大人は、子どもが悪いことをすれば叱り、「おはよう」などの挨拶は日々の光景でした。しかし、最近では「便利なデジタル社会」になり、「PayPay」などキャッシュレス対応や、スマホ操作で苦勞することもしばしばです。

地域づくり協議会は、地域の皆さんの「安心・安全な生活」と「一人ひとりのつながり」をスローガンに活動しています。また、地域づくり協議会では、木曽川町連区の事業団が行う事業を、「地域づくり協議会だより」や「ホームページ」で発信しています。「ちょっといい話」では、町内会の活動や町民の方からのほっこりする情報も掲載しています。皆さん是非、楽しみにご覧いただき、ホームページへのアクセスもよろしくお願いします。

本年度も、3名の新役員や新加入の部会員さんを迎え、5つある部会の皆さんと力を合わせ活動してまいります。地域の行事に積極的にご参加いただくとともに、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

連区長あいさつ

連区長(地域づくり協議会副会長) 佐塚 篤



皆さん こんにちは。「住んで良かった里小牧」の区長の佐塚です。

木曽川町連区の連区長の任期は2年で、もう1年 連区長です。よろしくお願いします。

里小牧の紹介です。

里小牧の「牧」は、牧場・などに使われているように、草原の地に付けられている名前。

木曽川が運んだ砂で、自然につくられた砂地で、その上に葎や雑草が生え、生い茂っていた小さな草原地帯でした。土地の開発が進むと人口も増加し、草原地に次第に家を建て、住民が増えていきました。そんな頃、誰いうとなく、小牧の里と呼ぶようになっていきました。

里小牧には電車道という通りがあります。賀茂神社から木曽川西小学校を北進、北方町方面へ通っている道を電車道と呼んでいます。現在は、名鉄尾西線の玉ノ井駅で終わっていますが、昔は北方宝江まで通っていました。木曽川町内にはじめて私鉄道が敷設されたのは1914年、尾西鉄道が新一宮から奥町、玉ノ井、木曽川橋(宝江)の区間 8.7キロを開通したのが始まりです。1925年 尾西鉄道は名鉄と合併して名鉄尾西線になりました。はじめは、蒸気機関車でしたが、1924年電化になり、柳橋(名鉄名古屋始発駅)から木曽川橋に直通の急行を運転した時期もありました。更に 宝江は対岸の笠松港と同様、物資の荷揚げ場所でもあり、県内各地に運び出す必要から、尾西線を木曽川橋から堤防外の川淵まで延長して「木曽川港駅」をつくりました。川を下ってきた舟からは、石、砂利、砂などが陸揚げされて貨物車に積み替えられて各地へ工事用資材として運ばれていました。常滑方面からは、常滑焼などを満載した大船が接岸して荷揚げされている様子も見られたそうです。この付近には 陶器、植木鉢、庭石を売る店もできました。木曽川西小学校の南門にある大石もこの電車で運ばれてきた思い出の石です。

皆さんからの投稿をお待ちしています。地域の活動などの投稿もお待ちしています

ホームページ「ご意見箱」よりご投稿できます

地域づくり協議会の公式ライン「お友達登録」もお願いします

ご意見箱



ライン



きそかわ

クイズ

木曽川の源流(川の始まりとなる場所)は何県にあるのでしょうか?

(岐阜県、富山県、長野県、愛知県、静岡県)から選んでね。

答えは最後のページだよ!



令和7年度 木曽川町連区地域づくり協議会 役員

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
会 長	宮口 勉	監 事	平林 哲也	理 事	虫鹿 典子
副会長	佐塚 篤	安全安心部会長	稲生 良造	理 事	岩田 拓也
副会長 兼 広報部会長	小河 元男	活気部会長	川井 節男	理 事	町田 啓史
副会長 兼 女性部会長	宮崎 初美	思いやり部会長	本田 寛	理 事	中井 義也
事務局長(兼書記)	脇田 兼康	理 事	脇田 美登里	理 事	蜂須賀 元文
会 計	千石 明	理 事	江崎 美輝子	理 事	川合 勝也



よろしく
お願いします

令和7年度 木曽川町連区地域づくり協議会 予算(歳出)

(単位：円)

		歳 出	
区 分	予 算 額	備 考	
会務費	1,775,000		
内 訳	事 務 費	150,000	消耗品等
	会 議 費	128,000	総会、部会開催経費
	活 動 費	194,000	会長、事務局長、部会長活動費、役員・会食補助費
	講 習 会 費	354,000	HUG、認知症サポーター養成・スキルアップ講習会、 認知症徘徊模擬訓練、自然・文化・歴史講習会 木曽川町再発見講座
	事 業 費	930,000	防犯カメラ維持管理、私たちの描く将来の木曽川町 親子イベント
	備 品 購 入 費	19,000	ICレコーダー
事業費	12,168,000		
内 訳	安 全 安 心 部 会	交通安全会	752,000
		防犯委員会	606,000
		資源回収推進協議会	200,000
		防災訓練	200,000
	活 気 部 会	高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会	444,000
		学校外活動推進委員会	210,000
		公民館	2,001,000
		健康づくり推進員連絡会	962,000
	思 い や り 部 会	社会福祉協議会支会（見守り）	111,000
		社会福祉協議会支会（敬老会）	5,982,000
	広 報 部 会	地域づくり協議会だより印刷代等、 インターネット使用料	
予備費	745,000		
計	14,688,000		

※費目(区分) ごとに不足が生じた場合は、費目間の流用を認める。

令和7年度 木曽川町連区地域づくり協議会 月別事業計画

月	事業内容	実施場所	部 会	備 考
4	令和7年度総会(決算・予算)	木曽川公民館	-	地域づくり協議会
	一斉街頭監視活動	連区内主要交差点	安心安全	交通安全会
5	公民館役員総会	木曽川公民館	活 気	公民館
	交通安全会研修会	木曽川公民館	安全安心	交通安全会
	防犯委員会研修会	木曽川公民館	安全安心	防犯委員会
	工作フェスティバル	木曽川体育館	活 気	学校外活動 NPO法人木曽川文化・スポーツクラブ
6	女性学習部事業 女性学級	木曽川公民館	活 気	公民館
	自然・文化・歴史講習会	各小学校	活 気	地域づくり協議会
	見守りネットワーク事業 町会長と民生児童委員が見守り・支援開始	連区内老人世帯 障害者世帯等	思いやり	社会福祉協議会木曽川町支会
7	一斉街頭監視活動	連区内主要交差点	安全安心	交通安全会
	成人学習部事業 成人講座	木曽川公民館	活 気	公民館
	女性学習部事業 女性学級	木曽川公民館	活 気	公民館
	プログラミング教室	木曽川体育館	活 気	学校外活動 NPO法人木曽川文化・スポーツクラブ
	認知症サポーター養成講習会	木曽川文化会館	女 性	地域づくり協議会
8	魅力ある地域づくり部事業 盆踊りのつどい	木曽川運動場	活 気	公民館
	工作フェスティバル	木曽川体育館	活 気	学校外活動 NPO法人木曽川文化・スポーツクラブ
	「みんなで描こう! 木曽川町の未来予想図」 ～Junior Talk in Kisogawa～	木曽川公民館	活 気	地域づくり協議会
9	一斉街頭監視活動	連区内主要交差点	安全安心	交通安全会
	HUG講習会	木曽川公民館	安全安心	地域づくり協議会
	女性学習部事業 女性学級	木曽川公民館	活 気	公民館
	木曽川町一豊まつり	黒田小学校周辺	活 気	商工会
	認知症サポーターステップアップ講座	木曽川公民館	女 性	地域づくり協議会
	教養講座	木曽川公民館	活 気	高齢者の生きがいと健康づくり
	敬老会事業	-	思いやり	社会福祉協議会木曽川町支会
10	家庭学習部事業	木曽川公民館	活 気	公民館
	成人学習部事業 成人講座	木曽川公民館	活 気	公民館
	女性学習部事業 女性学級	木曽川公民館	活 気	公民館
	木曽川中学校おやじの会 ペットボトル水ロケット大会	木曽川中学校	活 気	学校外活動
	魅力ある地域づくり部事業 文化祭	木曽川公民館	活 気	公民館
	教養講座	木曽川公民館	活 気	高齢者の生きがいと健康づくり
11	工作フェスティバル	木曽川体育館	活 気	学校外活動 NPO法人木曽川文化・スポーツクラブ
	魅力ある地域づくり部事業 芸能祭	木曽川文化会館	活 気	公民館
	成人学習部事業 成人講座	木曽川公民館	活 気	公民館
	女性学習部事業 女性学級	社会見学	活 気	公民館
	自然・文化・歴史講習会	各小学校	活 気	地域づくり協議会
	木曽川町商工まつり	木曽川商工会館	活 気	商工会
	認知症徘徊模擬訓練	木曽川東小学校	思いやり	地域づくり協議会
	木曽川再発見講座	連区内毛織物工場	活気	地域づくり協議会
12	防災訓練	黒田小学校	安全安心	連区町会長協議会
	地域安全運動期間中における啓発活動	大型ショッピングセンター等	安全安心	防犯委員会
	一斉街頭監視活動	連区内主要交差点	安全安心	交通安全会
	親子イベント	木曽川公民館	女性	地域づくり協議会
	成人学習部事業 成人講座	木曽川公民館	活 気	公民館
2	女性学習部事業 女性学級	木曽川公民館	活 気	公民館
	家庭学習部事業事業	木曽川公民館	活 気	公民館
毎月	自然・文化・歴史講習会	各小学校	活 気	地域づくり協議会
	資源回収	各町内	安全安心	資源回収推進委員会
	交通安全街頭活動	連区内	安全安心	交通安全会
隔月	防犯パトロール	連区内	安全安心	防犯委員会
	役員会	木曽川公民館	-	
	広報誌発行	全戸配布	広 報	年6回発行予定

(注:この表に記載してある諸事業は、令和6年度に各団体が計画した事業を列記してあります。令和7年度各団体の計画によっては変更となる事業もあります)



前任の黒田小学校 柴田泰子先生、木曽川西小学校 倉橋裕二先生、
木曽川中学校 宇佐美 徹先生、お疲れさまでした。
ありがとうございました。



黒田小学校
飯沼 竜太 校長
地域づくり協議会
思いやり部会員

黒田小学校は、地域の皆様のお支えにより、開校から2022年度(令和4年度)に150周年を迎え、本年度153年目となります。黒田の未来を担う子どもたちが通う、誇りと伝統ある黒田小学校の第33代校長を拝命し、たいへん大きな責任とやりがいを感じています。

黒田小学校は、「よく考える子 がんばる子 明るい子」の変わらぬ校訓のもと、近年は「夢・感謝・積み重ね」をスローガンに教育活動を行っています。子どもたちには、夢や目標をもち、周囲の支えに感謝をしながら、自分ができることを一つ一つ着実に積み重ねて、自分自身の未来を切り拓いていってほしいと願っています。ご家庭・地域とともに、子どもたちの健やかな成長を支え、子どもたちが「学校が楽しい！」と通う学校をめざして、誠心誠意努めて参ります。ご家庭・地域の皆様の、ご理解、ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



木曽川西小学校
笠原 一男 校長
地域づくり協議会
活気部会員

このたびの異動で、千秋小学校より木曽川西小学校にまいりました。前任校より児童数が倍となり、教室の数、教職員の数等規模の大きさに圧倒されている毎日です。児童数が多い分、放課に外で元気よく遊ぶ子の声もたくさん聞こえ、活気に満ちあふれていると感じます。また、現在、藤の花やタンポポの花が咲いており、花を集めて遊んでいる子が「校長先生にあげる。」と手のひらがいっぱいになるほどくれる子もいます。人懐っこく心やさしい子もたくさんいることをとてもうれしく思っています。「おはようございます」と、元気にあいさつしてくれる子どもも多く、朝から元氣ももらっています。令和5年度に創立150周年を迎えた伝統のあるこの木曽川西小学校を教職員と力を合わせ、子どもたちから、保護者から、そして地域から信頼されるよりよい学校づくりをめざして頑張っていきます。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



木曽川中学校
芳賀 康臣 校長
地域づくり協議会
安全安心部会員

年度当初の集会で「自分の夢や目標をもって、こつこつとあきらめずに努力してほしい」という話をしました。『私の好きな言葉は、「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行く、ただひとつの道」というものです。イチローさんは、天才と呼ばれることを嫌いますが、飽きずに継続できること自体が才能であり、その点において「努力の天才」といえます。設定した目標に対し、微調整と修正を繰り返し、目標との距離を縮め、長年活躍しました。

4月、みなさんは素晴らしい出会いをしました。この出会いを大切に、素晴らしい仲間とともに楽しい学校生活を自分たちの手で創り上げ、夢や目標をもって、こつこつとあきらめずに努力する人になってください。『保護者・地域の皆様と私たちが手を携え、協力し合いながら子どもたちの成長を温かく見守っていきたいと思います。今後のさらなるご支援・ご協力をよろしくお願いします。』

きそがわ 掲示板

小中学校の修学旅行

黒田小学校 6月12、13日 } 京都
木曽川西小学校 6月10、11日 } 奈良
木曽川東小学校 6月19、20日 } 方面
中学校 5月28～30日に実施されました。

小中学校の夏休み

終業式 7月18日(金)
始業式 9月1日(月)



女性部会

認知症サポーター養成講座を開催します。
7月12日(土) 10:00～11:30

尾西信金ホール(木曽川文化会館)
一般の申し込みは右記QRコード
から(締切6/30)参加者には粗品あり



公民館 講座案内

本年度も公民館女性講座と成人講座の受講者を募集します。
町内回覧板を通して募集要項等をお知らせします。
多くの方のご参加をお待ちしております。

☎(公民館)0586-85-7077

活気部会の今年度の活動予定

- ・ジュニアトーク2025(連区内小中学生参加)
 - ・連区内3小学校(3年・6年)での『出前授業』(歴史・文化・自然)
 - ・木曽川町再発見講座『尾州毛織物工場での見学・体験』
11月21日(県民の日学校ホリデー)
- 詳細は、今後お知らせいたします。今年度も活力あふれるまちづくりを推進してまいります。

